

第九たいむず



No. 11 2009. 8. 20

●次の日曜日は色々盛りだくさん♪
何が？っていう人は下を確認してね。

通刊853 担当 UKAI

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長 中村)

◆8月23日 スロヴェニアレッスン・旅行説明会・第九サマーレッスン

場所: 高崎市中心公民館 集会ホール(本日の練習場所と同じです!!)

当日のスケジュール 10:00~12:00 スロヴェニア公演の練習

12:00~12:30 昼食(持参してください。)

12:30~13:30 旅行説明(ICECにて)

13:30~16:30 サマーレッスン 第九のみ。パート練習中心。

※スロヴェニア公演に参加する方で、パスポートのコピーと保険の申込書の提出がまだの方は、必ず持参してください。

◆納涼祭(8月23日 サマーレッスン終了後) 最終受付!?

日時: 8月23日(日) 場所: ビストロAIAI 費用: 3500円(飲み放題)

♪お店の場所など、詳しい情報は受付の申込書にて! まだ参加に迷っているあなた、思い切って申し込んじゃいましょう! その勢いでもって思いっきり楽しんじゃいましょう!!

◆今後の練習会場+予定 8月は高崎市中心公民館、9月は教会へ戻ります。

日付	曜日	メイン会場	パート練習	
8月27日	木	視聴覚室	音楽舞蹈室	通常練習
9月3日以降	木	教会	有	通常練習

※9月以降に教会に戻ったら、今度は残暑対策をお忘れなきように。

◆受付よりご案内 *団員登録はお早めに。

団員登録をお早めにお問い合わせください。 団費17,000円(新規の方は+入団金2,000円)

楽譜の販売 第九 2,300円、ハレルヤ 750円、クリスマスメドレー I (山本直純編曲) 100円

メイコンサートDVD 1,000円、第九パート別練習用CD 1,900円、スロヴェニアの歌CD 200円

コンサート情報・行事情報

受付のチラシも是非お持ち下さい!

☆第二回中之条ビエンナーレ2009 美術+故郷+温泉 ←ソプラノ桑原かよさんが実行委員です!

2009年8月22日(土)~9月23日(水) 9:30~17:00木曜定休/入場無料 (ワークショップ有)
中之条ビエンナーレ公式HP <http://nakanojo-biennale.com>

☆オペラ「カルメン」 元指導者佐藤貴子先生、一昨年第9で共演した谷口氏・泉氏が出演

2009年8月30日(日) 14:00開演 大泉町文化むら大ホール 全席自由1500円、当日1800円
指揮: 田部井剛、カルメン: 谷口睦美、ドン ホセ: 山田精一、エスカミーリョ: 泉良平、ミカエラ: 佐藤貴子

☆高崎市少年少女合唱団・定期演奏会 ←チケットはアルト長島さんまで

2009年9月5日(土) 13:30開場 14:00開演 高崎市文化会館 入場料500円全席自由

☆サロンコンサート「ドイツ歌曲とケーキの甘い関係」

2009年9月19日(土) 19:00開演 岩宿博物館 入場料2,000円(入館料、飲み物含む)
シューベルト、シューマン、ブラームス作曲のドイツ歌曲の代表作と、ケーキとコーヒーを楽しめます。
坂本真由美(S)、田村稔(T)、住谷伴(B)、田村聡子(P、田村先生の奥様です。) 第九のHPからリンク中。

☆第4回群馬オペラ協会公演 オペラ「カルメン」 小林薫子さん、太田さん、関口さんが合唱で出演

2009年9月27日(日) 13:30開演 ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール
大人自由席5,000円、高校生以下自由席2,000円、座席予約券1,000円

☆オペラ「蝶々夫人」10/9、11 東京文化ホール 蝶々夫人: 大山亜紀子他 チケットは洋子先生まで

◆ヨーロッパ公演 オプショナルツアーのご案内(参加者の方には別途案内をお配りします。)

ヨーロッパ公演のオプショナルツアーが決定しましたのでご案内いたします。23日に改めて説明し、参加の有無を確認いたします。

1. 10月24日(土)18時 ベートーヴェン「莊厳ミサ」

会場: Auditorium Parco della Musica アウディトリウム パルコ デッラ ムーヅカ(音楽公園)内の大ホール

管弦楽: サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団

費用: 行帰りのバス代込みで 12000円 or 9000円 or 7200円(座席により異なります)

2. 10月25日(日) 世界遺産「聖地アッシジ観光」

所要時間約9時間 8時~17時(ローマより片道184km 約2時間) 費用: 12000円日本語ガイド付

◆スロヴェニア公演 ソリスト紹介① 2009年10月28日(水)20時開演

ソプラノ: 豊嶋起久子(Kikuko Teshima)



東京芸術大学を卒業後、明治・安田生命クオリティーオブライフ文化財団より助成を受け、ベルリン国立音楽大学、文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘン国立音楽大学、カールスルーエ国立音楽大学オペラ科、さらに(財)ロームミュージックファンデーション特別音楽研究生としてウィーンで研鑽を積む。

芸大在学中に、ドミンゴコンクール日本代表、国際コンクール「新しい声」アジア代表として世界大会で奨励賞を受賞。日本人としては最年少であった。

1998年にはすでに、ブダペスト・ヴェローナ国際コンクールで第1位を獲得、ブダペストのハンガリー国立歌劇場「ラ・ボエーム」、ムゼッタ役で初々しくも華やかなヨーロッパ・デビューを飾った。そのとき、ウィーン国立歌劇場の名誉会員で宮廷歌手の称号をもつクリスタ・ルートヴィヒに高い評価を受けた。

1999年サントリーホールオペラ「愛の妙薬」では唯一の日本人ソリストとして、ジュゼッペ・サツバティーニ、エヴァ・メイらと共演。

27歳で伝統と格式を誇るプラハ国立歌劇場での「蝶々夫人」の主演(タイトルロール)に抜擢され、大成功を収める。チェコの巨匠指揮者故ボフミール・グレゴルに「やっと本物のマダム・バタフライ(蝶々さん)に出会った」と言わしめ、みずみずしい歌唱と豊かな表現力、傑出した存在感で上演を成功に導き、プラハ国立歌劇場の人気プログラムとなる。4シーズン連続の蝶々さんを一人で務め、劇場史初まって以来の名誉を受けた。

2004年には同劇場での「トゥーランドット」に出演、役柄(ローレン)デビューとなったリユーでも高く評価された。2007年「蝶々夫人」の主演でオランダ各地、ベルギーでツアーを行い好演。また、ポーランドのOperaNova では25年ぶりの「蝶々夫人」新演出に招待され大成功を収め、地元テレビ、ラジオなどメディアで大きく採り上げられた。2008年、名古屋フィルハーモニー交響楽団主催プッチーニ生誕150年記念公演でも満場の喝采を浴び、京都では京都創生座の世界初演・新作楽劇「俱利伽羅忠度」にゲスト出演し、クラシック音楽と日本古典芸能の架け橋的役目を果たした。同年、スロヴェニア国立マリボール劇場から招待され、「蝶々夫人」の主演を務め、劇場の音楽監督に「若き日のミッレツァ・フレーニのようだ。」と高く称賛された。また、北九州国際音楽祭には、2006年から3年連続で招待され、いずれも好評を博している。

これまでにバイエルン国立歌劇場管弦楽団、メトロポリタン歌劇場管弦楽団、ケルン放送交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ザクセン州「エルツ山地」交響楽団などと共演。多くのオーケストラと共演し、ヨーロッパを中心に、オペラ、ドイツリート、オラトリオなどと、精力的に活動している。2008年より北九州市文化大使も務める。北九州市民文化奨励賞受賞。ウィーン在住。